

2011年度

科目名	日本風俗文化史A			
担当教員	乾 澄子			
配当	文 3・教育3・人間3		コード	53053
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数 2
授業テーマ	王朝の風俗と文化			
目的と概要	現在の私たちの風俗や文化には、さまざまな歴史的背景がある。なかでも自然観を中心とした、行事の多くは400年続いた平安時代の貴族たちによって育まれてきた。自然豊かな日本の風土において、四季折々の季節にふさわしい生活を送ることが、何より教養あるものとされてきた王朝人の知恵を学んで行きたい。そして現代まで受け継がれているもの、すでに消滅したもの、形を変えたものなど、現代との関わりを考えてみたい。			
成績評価法	学生による発表(50%)、期末のレポート(30%) 提出物、出席状況、授業への参加意欲(20%)			
テキスト	適宜プリントを配布			
参考書	必要に応じて授業時に指示			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講義形式で進めるが、後半は受講者による発表を課し、質疑を通じて内容を深めたい。			
講義計画				
<内容> ○今学期は主に平安時代の通過儀礼と貴族たちの日常生活について学ぶ。 ○さまざまな行事について、『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『古今集』などの文学作品を通じて当時の人々の感じ方、考え方を学習 <スケジュール> 1 ガイダンス 王朝時代、貴族の生活についての説明 2 王朝の四季に対する感覚、美意識などについて、古典作品から学ぶ 3 平安時代の通過儀礼についての概説 4 誕生・出産 5 成人式…元服・裳着 6 結婚 葬送 7-14 受講生による発表と討議 衣裳、音楽 信仰 建物 食べ物 医療 などについての報告 15. まとめ ☆国際的な感覚が求められる時代、まず自分たちの国の文化を学ぶことが、他の国の文化、習慣、思考を理解することの第一歩である。身の回りのいろんな行事や風俗の歴史的な背景を学ぶことによって、現在の我々の生活や文化について、あらためて考えてみる機会としたい。				